

竜が台中学校区

これからの社会を生きる子供たちのために・・・

～学校規模適正化基本方針 保護者説明会～実施報告

1. 実施日時

- (1) 竜が台小学校 令和6年10月16日(水)9:35～10:35及び14:30～15:45
- (2) 菅の台小学校 令和6年10月17日(木)9:40～10:45及び13:00～14:10
- (3) 竜が台中学校 令和6年10月23日(水)9:30～10:40

2. 出席者数

- (1) 竜が台小学校 計23世帯
- (2) 菅の台小学校 計24世帯
- (3) 竜が台中学校 7世帯

3. 出席者からの主な質問・意見

出席者からの主な質問・意見	神戸市教育委員会より
校区変更等という案は考えられないのですか。	周辺の小学校の児童数を考慮すると難しいと考えます。
校区を変更しなくても、周辺の校区から希望すれば通学できるという案はないのですか。	校区変更等と同様に周辺の小学校の児童数を考慮すると難しいと考えます。仮に周辺の校区から希望すれば通学できるとしても、学級数が増えない場合があります。
周辺の学校の児童数や学級数の推移を知りたいです。	次回の説明会でお示ししたいと思います。
今回の基本方針には、人口を増やすという考えは含まれていないのですか。	まちづくりの観点で人口を増やすということは大切だと考えています。ただ、教育委員会としては、子供たちの教育環境の向上を第一に検討を行っています。
学童保育については、どのようになるのですか。	今後、話し合いを進めていく中で検討していきたいと思っています。
学校統合については、小学生であればあまり問題はないと思うのですが、中学生だと他校の生徒と関わりをもつことは行動範囲が広がるなど良い面だけではないと思います。また、校区も広くなり通学も大変だと思います。	ご意見、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。
義務教育学校になるとしたら、学校の場所はどこになるのですか。	竜が台小学校と菅の台小学校のほぼ真ん中にあり、敷地面積等が一番広い竜が台中学校の場所という案が考えられます。
義務教育学校になるとしたら、校舎は新しく建て直すのですか。	今後、必要となる施設などを検討していく必要がありますが、既存の校舎を活用しつつ、不足する場合は増築等で対応したいと考えています。
義務教育学校へ移行した場合、校区の変更はあるのですか。	周辺の学校の児童数を考慮すると、義務教育学校への移行の有無に関わらず、校区の変更は難しいと考えています。
義務教育学校へ移行した場合、他の学校と学習内容の差が生じたり、転出入の際に支障が生じたりしないでしょうか。	学習指導要領に基づいて各学年で学習を行っているため問題は生じません。通常の転出入と同様とお考えいただければと思います。

義務教育学校へ移行した場合、給食はどのようなになるのですか。	取り組みの方向性が決まっていないので具体的には申し上げられません。ご質問のように義務教育学校へ移行する場合は検討する必要があります。
義務教育学校へ移行する良さと課題について教えてください。	良さと課題について一例を紹介します。詳しくは今後、説明できればと思います。 【良さ】小中学校の教員が指導内容を共有したり、お互いの良さを取り入れたりすることで、より良い授業を行うことが期待できます。子供たちの学習意欲が向上したという報告もあります。 【課題】義務教育9年間を通した学校生活になるので、小学校高学年のリーダー性や主体性の育成について課題があるという報告があります。各校において、日々の教育活動で工夫し、解消を図っています。
義務教育学校の事例を知りたいです。	今後の説明会で事例紹介をしたいと思います。
義務教育学校の施設面での話し合いが多かったように感じますが、大切なことは子供たちがどのように学ぶのかということではないでしょうか。	おっしゃる通りであり、取り組みの方向性を考えていく際に大切なことだと考えています。
義務教育学校に移行しても、小学生は45分授業、中学生は50分授業ですか。	基本的には小学生は45分授業、中学生は50分授業です。ただ、小学校高学年から50分授業を実施している学校もあります。
義務教育学校になっても小学校6年、中学校3年というように考えればいいのでしょうか。	小学校課程は6年、中学校課程は3年ということに変わりはありません。ただ、義務教育9年間の中で4年・3年・2年などのブロックを設けて教育活動を行っている学校もあります。
義務教育学校へ移行しても中学校の生徒数は変わりません。メリットを教えてください。	一例として、中学生が小学生の手本になろうという意識が高まり、思いやりや助け合いの気持ちが深まったという報告があります。
義務教育学校になると、小学校の卒業式や中学校の入学式はなくなるのですか。また、制服やPTAなどはどうなるのですか。	特に決まったものはありません。ご質問にある件も含めて、今後、検討できればと思います。
本日の説明内容は理解できたのですが、今後の話し合いがどのように進んでいくのかははっきりとしません。教育委員会から望ましいと考えられる案や今後のスケジュールを提案してもらい、それについて話し合いを行う方が良くと思います。	今回の説明会は、まずは基本方針等について保護者の方にご理解をいただきたいという目的で行いました。頂戴したご意見やご質問をもとに、次回の説明会の内容を検討したいと思います。
中学校の先生が学年をまたがって指導されているのは大変なことだと思います。また、教科によっては途中で先生が交代することがあると聞いています。義務教育学校になれば、少しは解消されるのでしょうか。	小規模の中学校では、教科によっては学年をまたがって指導をしているということが多く見られ、教材準備等で大変であるということを聞いています。ご質問の件につきましても、今後考えていきたいと思っています。
他の地域でも、このような話し合いは行われているのですか。	神戸市内には、小中学校合わせて約70校の小規模校があります。学校運営協議会などで順次、説明や話し合いを行っています。
学校統合や義務教育学校へ移行するとなれば、先生方の負担が大きくなり、今の子供たちと関わる時間が減るなどマイナス面はないですか。	学校統合や義務教育学校へ移行するとなれば、カリキュラムや学校行事などを検討する必要があります。教育委員会もしっかりとサポートし、子供たちが充実した学校生活を過ごせるようにしていきます。
小学校入学前の保護者にも説明をした方がいいと思います。	今後もこのような説明会を行っていきます。小学校入学前の保護者の方への説明についても、しかるべきタイミングで行いたいと思います。